



研究から生まれる 暮らしのデザイン

(株)米田横堀建築研究所

代表取締役所長 一級建築士 横堀 将之 氏
(前橋支部所属)



Q & A

▼会社紹介

当社は、建築物、主に住宅や店舗、クリニック、事務所などの設計監理を行っています。建築士事務所は設計監理のみを行う「専業建築士事務所」と、建設会社等の一部門として設計監理を行う「兼業建築士事務所」の二つに分かれます。設計監理専業では、工事費を受け取る組織に属さないで、施主様の代理として施主様の立場で適正な価格・品質の建物を建築することができま

す。当事務所は二〇一九年、前橋から高崎の井野川沿いにある現住所に新築移転しました(左下の写真)。また、二〇一五年に私が代表になるタイミングで社名を変更しました。社名の「研究所」は、人が暮らすための家事やライフスタイルなど、全てを研究してデザインに取り入れて提案したいという想いと、その気持ちをいつまでも忘れないように社名に入れました。

▼自己紹介

高校でインダストリアルデザインを学び、建築系の短大に進

学しました。そこで出された課題に取り組み中で「建築」に深くのめり込み、大学に編入して、都内の建築事務所に就職しました。現事務所(当時は米田設計)には、二級建築士として入社し、一〇年ほど前に一級建築士の資格を取得しました。一般の住宅を設計するのであれば、二級の資格で基本的には問題はありませんが、やはり一級建築士という資格が、施主様、取引先様に対して大きな安心感に繋がっていると思います。

▼イチオシPR

自由設計のデザイン力と提案力だと考えています。県が開催する「ぐんまの家」設計・建設コンクールでは、二〇一二年に優秀賞。二〇一四年に優秀賞と特別賞。二〇一七年に最優秀賞



をいただきました。

提案力では、例えば下の写真の十六角形の住宅ですが、施主様は当初、ご自身の生活スタイルに合わせて「コの字形」の住宅をイメージしていました。その思いをヒアリングし、打ち合わせを重ねる中で「施主様が暮らしの中で大切にしたいポイント」が見えてきますので、薪ストーブを中心に据え、そこから放射状に生活空間を配置するデザインを提案しました。全く別の形になりましたが、非常に喜んでいただけました。

施主様の多くは、建てた後の暮らしの全体ではなく一部(キッチン、ガレージなど)のみを見ている場合が多くあります。その大切なイメージを残しながら、経験とデザイン力で、全体像を提案していくのが私たち建築士の仕事であると考えています。

▼今後について

住宅の着工棟数は減少しています。人口・世帯数の減少など理由はたくさんありますが、その影響は大手の住宅会社ほど大きく、業界としては危機感を抱いているようですが、私はそこまで危機感を持っていません(笑)。と言うのも、社員四名で、



自由設計の建築士事務所ですから、年間の建築棟数も限られません。暮らしにこだわり、デザイン性や性能の高い住宅などの建築を求める方の割合が大きく減少することはないと思っています。

これまで通り、価格ではなく暮らし等の建築の質の向上を研究し、一つ一つを丁寧にデザインすることが当社の役割だと考えています。

住宅も様々なシステムが導入され、便利になる一方ですが、そこに頼り過ぎず「人間の感覚」が暮らしに入り込む余地を残した建築設計を目指し、研究を続けていきます。

所在地 / 高崎市小八木町2000-2
連絡先 / TEL027-361-5200
URL / <http://www.y-archi.co.jp>